

■令和5年2月定例記者会見

日時：令和5年2月13日(月)午後0時20分～0時55分

場所：吹田市役所高層棟4階特別会議室

市からの発表案件に対する質疑応答要旨

吹田市広報課

記者の皆様からご質問をお受けしたいと思います。

記者

当初予算の主な取り組みで、新規だけ挙げていただけますか。

吹田市担当者

スライド14枚目のパートナーシップ宣誓証明制度。予算額はわずかですが、取り組みとしては新規としてスタートさせていただくものです。

スライド16枚目の下2つ。低所得の妊婦に対する初回産科受診料の助成と、多胎妊婦に対する健診助成の拡充です。

スライド17枚目の子供の置き去り防止や見守りを目的とした機器の導入支援と、その下の小・中学校等における危険木の対応も新規になります。配慮が必要な子どもの支援として、発達相談業務は従来からおこなっていますが、その中で地元阪大の協力による、医療連携体制の強化は、新規のものになります。

スライド18枚目の1番上、保育人材確保のための給付金制度も、初めての取り組みでございます。その下、不登校児童生徒への支援プログラムの構築等について、令和6年4月に北部消防庁舎の中に教育センターが移転オープンするに伴い、未来型教育支援教室（仮称）として、不登校児童生徒への支援を強化し新しい形でやっていくということを教育委員会の方で計画しており、それに向けたプログラムの着手ということで、再構築といった形の取り組みになるかと思えます。

スライド19ページの1番上、電気自動車の導入、3つ目、路上喫煙防止啓発員の配置、スライド22ページのDX推進の2つ目、国民年金の遠隔窓口相談システムの導入がそれぞれ新規です。当初予算の主な取り組みからは以上になります。

記者

電気自動車は何台購入ですか

吹田市担当者

来年度、更新の時期が来るものが2台。その後、リース期間の更新がきたものから順次交換していきたいということで、その最初の着手になります。

記者

今までは電気自動車がないということですね

吹田市担当者

はい。

なお、更新予定の2台のうち、1台は総務室、1台は環境部の軽自動車となります。

あわせて、庁舎敷地内に充電設備を設置する予定でございます。

記者

市長の話で、予算の規模が過去最大規模とありましたが、これは特別会計も含めた総額でということですか。それとも、一般会計だけでも過去最大規模ですか。

吹田市担当者

一般会計でも過去最大です。

記者

どちらも過去最大規模。

後藤市長

総額も最大です。

記者

一般会計も総額も過去最大規模ですね。

記者

市長の任期が迫っている中で、骨格予算、結構本格的な予算を組まれたという印象があるのですが、これについて市長の狙いや意図というのがあれば教えていただきたいです。

後藤市長

それほど本格的ではないと思っています。今、緊急にすべきことというのは、こうして先程説明をさせていただきましたが、骨格的なまちづくり予算というのは継続してやっていますし、新たに大きな予算で新規事業をするというのは、ご存じのとおり骨格予算なので、それは避けております。これは7月に新たに出ることになると思います。全体に増えていますが、それは人口増に伴い当然すべきことであって、新規に何かを前面に打ち出すというような内容ではないとご理解いただければと思います。

記者

確認ですが、先程新規の事業について、ピックアップの中の子育て世帯への支援でいうと、保育人材の給付金制度と、あと安心安全のための取り組みでは、置き去り防止の機器の導入支援と、危険木調査の3つという理解でいいでしょうか。

吹田市担当者

はい。

記者

位置づけとしては骨格予算という位置づけで構わないですか。

後藤市長

はい。

記者

新規事業については7月でまた手当する。

後藤市長

はい。

記者

市税と市債、数字を万単位まで教えていただけますか？何千何百何十何万まで教えていただけますか。

吹田市担当者

案件概要の32ページにあります。

記者

分かりました。

吹田市広報課

他に質問がないようでしたら、これで終了させていただきます。